

国語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
3年間かけて常用漢字の大体を読めるようになり、また学年別漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で使えるようになる。	自分の伝えたいことを、表現や構成を工夫しながら正確に伝えられる文章が書けるようになる。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 作文の内容に具体性をもたせ、相手が理解できる内容を書くことに課題がある。ア 漢字の読みについては問題がないが、書く能力については定着に課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 200字作文を書く活動の中で相手意識と目的意識を踏まえ、構成について交流を行う。ア [高崎 裕之1] 週に一度漢字テストを実施し、必要な生徒には再テストや追加課題を課す。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ア 後期 イ 前期～後期 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストでは書くことができるが、日常の文章で適切に漢字を使用して書くことが苦手な生徒が多い。ア 文章を書くことに[高崎 裕之2]抵抗感がある生徒が一定数いる。適切な語彙を選択したり筋道の通った説明をしたりすることが苦手な生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査や授業内の小テストを通じて知識の定着を図るとともに、短文を作成するなど、覚えた知識を実際に使う場面を増やす。ア 説明文等を200字程度で自分の意見をまとめる練習を行い[高崎 裕之3]、徐々に字数を増やしていく。論理の展開や表現について学習する場面を設ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ア 前期～後期 イ 後期 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 個人差はあるが、全体的に漢字を書く能力の定着に課題がある。ア 作文の内容に具体性をもたせ、構成を工夫して書くことに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内の小テストを繰り返し行う。必要に応じて復習プリントなどに取り組みさせる。ア 200～300字の作文で自分の意見をまとめる機会を増やす。また、推敲や交流を通して文章をよりよくなる機会を設ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ア 前期～後期 イ 後期 	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材に対する興味や関心をもたせるための活動に活用する。 互いの考えを共有し、助言し合う活動に活用する。 発表(個人・グループ)において資料の提示等に活用する。 	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業ごとに授業プリントを作成する。 単元や授業の最初に目標や授業の流れについて説明する。 振り返りの記述を共有することでより深い学びへと促す。
--	--

・情報の収集をしたうえで文章を書いてまとめる授業に活用する。

・評価については最初の授業で説明する。

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

社会科

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

社会的事象の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得するとともに、それらを社会に見られる諸問題の解決のために生きて働く「概念的な知識」に昇華させることができる。

「社会的な見方・考え方」を働かせながら、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想(選択・判断)したりすることができる。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	①断片的な知識でとどまっている生徒が多く、多様な知識を関連付けることに課題がある。ア ②資料から読み取って考察するにあたり、根拠や論理性に欠けることが多い。イ	①社会的事象を位置的・時間的・構造的に関連付けながら授業を進めていく。 ②課題解決学習の機会を定期的に設け、根拠を基に発表させることや、批判させることを行う。	①各授業の導入まとめ ②各授業の発表時各単元のまとめ	
第2学年	①基礎的・基本的な知識はおおむね定着しているが、新しく学ぶ内容を既習事項と関連させることには課題がある。ア ②多面的・多角的な考察ができるようになったが、諸問題について自分事として解決策を構想することには課題がある。イ	①授業開始、単元開始時に基礎的な用語の復習を行う。また、既習事項がどのように関連しているのかを伝え合う時間を設ける。 ②社会問題について授業内で触れ、自分たちの生活とのつながりを考える機会を設ける。	①各授業各単元の冒頭 ②各単元1回以上	
第3学年	①基礎的・基本的な知識や技能はおおむね定着しているが、「概念的な知識」を身に付けている生徒が少ない。ア ②複数の資料や情報を関連付けて考察することに課題がある。イ	①社会的事象に対して、社会科の3分野を意識させながら授業を進めていく。 ②複数の資料を活用させるレポートの課題を出し、個に合わせて学習に取り組ませる。	①各授業 ②各学期	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- ・資料の読み取りの際に、画面共有を行うなど、ポイントを分かりやすく提示する。
- ・ロイロノートを活用し、意見等を提出させ、全体共有に活用する。また、その意見を踏まえて、個人の振り返りにつなげる。
- ・ロイロノートを活用して課題提出を行うとともに、評価やフィードバックをオンライン上で行う。

- ・「持続可能な社会の担い手としてどのような考え方が必要か。自分自身に何ができそうか。」ということを書かせたり、話し合わせたりする。
- ・実生活との関連を考えさせたり、学習内容を踏まえて社会に見られる諸課題の解決に向けた構想を行わせたりする。
- ・「振り返りシート」を活用し、学習を通じた自身の変化に気付かせる。例えば、単元の導入で学習課題（「問い」）を提示して回答を予想させたり、各項の授業後に回答の深まり具合を

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

数学

数学科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を身に付ける。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な計算は身に付いている生徒が多い。ア ・活用問題では、既習事項との結び付きを意識することが難しい生徒も見受けられる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に復習問題に取り組みさせることで、基本的な知識・技能の習得を図る。 ・小テストを行い、基本的な知識・技能が身に付いているかを確認する。 ・文章問題では、立式する前に図や表を活用して全体の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時 ・習熟の程度に応じて ・单元ごと 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容理解が十分でない生徒がいる。ア ・文章問題や発展的な課題への苦手意識が強く、考えを数学的に表現することが難しい生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に既習事項の復習、小テストを行い、基本的な知識・技能の定着を図る。 ・文章問題を考えるときに最初から文字で考えるのではなく、具体的な数字で考えられるようにする。 ・説明し合う活動を通して、問題を多角的にとらえ、的確な表現方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時 ・習熟の程度に応じて ・单元ごとに複数回 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な計算は身に付いている生徒が多い。ア ・文章問題に苦手意識をもつ生徒が多く、問題から立式することが難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に復習問題に取り組みさせることで、基本的な知識・技能の習得を図る。 ・小テストを行い、基本的な知識・技能が身に付いているかを確認させる。 ・定期的に自分の学習状況を振り返らせ、学習方法の改善を図る。 ・文章問題では、立式する前に図や表を活用して全体の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時 ・習熟の程度に応じて ・单元ごと 	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

・タブレット端末を活用し、生徒のノートやワークシートを写し、課題解決の過程を全体で共有する。それを個で考えるときのヒントとして役立てたり、授業のねらいに沿って、生徒の考えから練り上げ、考察を深めたりするときに用いる。
 ・また、教科書にある D マークコンテンツ[高崎 裕之4]を活用し、グラフや図形を動かすなどして事象を視覚的に捉え、考察をする。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

・自力解決の前に既習事項との関連を意識させた見通しの時間をとる。
 ・また、授業の最初に簡単な小テストを行い、前回までの学習内容を振り返る。単元の終わりや定期考査後に、学習内容の振り返りを記入することで、自分で学んだことを整理する時間をとる。

理科

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

理科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解する。 ・科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、得られた結果を分析して解釈する。 ・科学的根拠を基に論理的に表現することができる。

学年	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則について、生徒によって定着の差が見られる。ア ・科学的根拠を基に思考・表現する力に課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項について、毎時間初めに振り返りを行い、繰り返し基本的な概念や原理の定着を図る。 ・実験結果を基に考察できることを話し合い、自分の考えを表現する場や他者の考えを聞く機会を設定する。また、単元末に科学的根拠を基に思考・表現する課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時 ・実験後、単元末 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則について、生徒によって定着の差が見られる。ア ・抽象的な概念について、それを用いた思考する力に個人差が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を比較し、そこから規則性や法則を、振り返りシートやテストを行うことで理解させる。 ・個々の実験結果を、既習事項と原理や法則と結び付けて思考する場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時 ・実験前後 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則については理解している生徒が多い。ア ・基礎的な学習内容と結び付け、自然の事物現象について科学的根拠を基に論理的に思考・表現することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を基に発展的に考える課題を多く取り入れる。 ・自然の事物現象においての課題を共有し、実験の見通しを確認・共有する。また、事後に生徒が科学的根拠を基に論理的に説明や表現する機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時 ・実験前後 	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
1年 インターネットや動画視聴に活用、実験結果等の記録共有パフォーマンステストへの活用 2年 インターネットや動画視聴に活用、実験結果等の記録共有 3年 インターネットや動画視聴に活用、実験結果等の記録共有レポート作成等	1年 身の回りの事象から学習内容に結び付け、学習意欲を育む定期テストの振り返り 2年 身近な事象と学習内容を結び付け、学習意欲を育む学習の振り返りシートの実施、定期テストの振り返り 3年 振り返りシートの実施（随時）、定期テストの振り返り

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

音楽

音楽科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
創意工夫を生かした表現で歌唱するために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、積極的に歌唱する力を身に付ける。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	授業内で学んだことを踏まえて、自分の考えをまとめることや文章などで表現することに課題がある。イ	意見交換したことを忘れないようにメモできるようなワークシートを活用していく。	単元ごと	
第2学年	歌唱の際、声量が出にくいことがあり、全体的に声量を上げていく必要がある。ア	歌唱の前に、発声練習を重点的に行い、声量を上げることに力を入れる。また、主に歌のテストの際に改善点はどこかをしっかりと伝えていく。	毎時 歌のテストは学期ごと	

第3学年	自分の想いを踏まえて考えをまとめ、文章などで表現することに課題がある。 <input type="checkbox"/> イ	鑑賞の際に学んだことと、自分の考えを両方メモできるようにワークシートやロイロノートを活用していき、それらを踏まえてまとめを書くように伝えていく。	単元ごと	
------	--	--	------	--

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>タブレット端末を活用し、毎時振り返りを記入させることで、授業内でできるようになったことや改善点を自ら見付けられるようにする。またその振り返りにフィードバックを返すことで、生徒との交流を図っていく。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>振り返りカードを毎回記入させることで、成果や改善点を生徒自ら考え、次時につなげる。次回頑張りたいことを振り返りに書くことで、次回の授業をどう取り組んでいくかの見通しをもてるようにする。</p>
--	--

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

美術科

美術科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	<input type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等 主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術に対する見方や感じ方を深めたりしている。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なデッサンやモチーフの観察がおおむねできている。<input type="checkbox"/>ア <input type="checkbox"/>イ ・基礎的な構成力がおおむねできている。<input type="checkbox"/>ア <input type="checkbox"/>イ ・知識、理解について個人差が見られる。<input type="checkbox"/>ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった制作ができるように、工程を示したプリントを準備、配布する。<input type="checkbox"/>ア <input type="checkbox"/>イ ・タブレット端末を用いた授業を行う。<input type="checkbox"/>ア <input type="checkbox"/>イ ・視聴覚教材やプリントを準備する。<input type="checkbox"/>ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の始め。 ・適宜 ・定期考査前 	

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 発想や構想面で技量の個人差が大きい。ア イ 基礎的な表現をベースにした、応用的な表現内容に課題がある。ア イ 知識、理解について個人差が見られる。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもった制作ができるように、工程を示したプリントを準備、配布する。ア イ タブレット端末を用いて、発想や構想を深める。ア イ 視聴覚教材やプリントを準備する。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の始め。 適宜 定期考査前 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 表現内容と技能がおおむねできている。ア イ 個々の思考力に差が見られる。ア イ 知識、理解について個人差が見られる。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもった制作ができるように、工程を示したプリントを準備、配布する。ア イ タブレット端末を用いて、発想や構想を深める。ア イ 視聴覚教材やプリントを準備する。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の始め。 適宜 定期考査前 	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>課題の発想や構想の段階で、自分のイメージを具現化する事に活用したり、具体的に表現したいモチーフを調べるために活用する。(1、2、3年)</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>作品のコンセプトを明確にして、自己の作品を振り返る。(1、2、3年) 作品展の相互鑑賞により、発想や表現方法を学ぶ。(1、2、3年)</p>
---	--

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

保健体育

保健体育科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
健康・安全についての理解を深め、生涯にわたり健康を保持増進し、運動技能を習得させ、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。	主体的・協働的な学習活動を通して、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る方法を探究する力を育成する。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 運動を楽しもうとする生徒は多いが、知識や技能の習得につながっていないことがある。 ペアワークやグループ学習で対話的な学習を苦手と感じている生徒が多く、協働的な学びが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードやタブレット端末を用いて自身の課題を明らかにしながら、運動に必要な知識を習得し技能の向上につなげさせる。 ペアなど少人数グループでの学習を中心に行い、互いに教え合う時間を作り、対話的な場面を増やし学習意欲を高める。 	年間を通じてどの運動領域についても行っていく。	

第2学年	<input type="checkbox"/> 運動が苦手だと感じている生徒が多く、どのように技能を習得していけばよいのかを考えることに苦手意識をもっていると感じる。 <input type="checkbox"/> 対話的な活動に対する力にやや課題があり、個々での活動が中心となっている。	<input type="checkbox"/> タブレット端末を活用して、自身の動きを分析的に確認し、課題を明らかにできるような学習を進めるようにする。 <input type="checkbox"/> 少人数のグループ活動から学習を展開し、互いに助言し合うなど対話的な学習の場面を増やす。	年間を通じてどの運動領域についても行っていく。	
第3学年	<input type="checkbox"/> 体力や運動能力に優れている生徒がいる一方で、苦手と感じている生徒も多い。今後は生活習慣の変化によって体力が低下しないように運動習慣を継続させていく力を付けたい。 <input type="checkbox"/> 場の雰囲気流されてしまう生徒が多く見られ、積極的に課題解決を図ろうとする意識を高めることが課題である。	<input type="checkbox"/> 体力テストの結果から自己の体力を理解させ、目標を立てさせ、必要な運動を継続して行わせ体力の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 学習カードやタブレット端末を活用して自己の運動課題を見付け、解決方法を探究する学習をグループで行い対話的で深い学びにしていける。	年間を通じてどの運動領域についても行っていく。	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき知能や技能について常に調べられるようにする。 ・ペアワークやグループ学習において、お互いの動きを撮影し、分析的に意見を出し合う活動を行う。 ・ロイロノートを活用し、各自の課題を提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使用したグループ学習の取組により、仲間と考えや気付きを共有させ、互いに助言し合い、その内容を記録しながら学習を振り返り、「対話的で深い学び」を通じて、学びに向かう力の育成を図る。

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

技術・家庭科

技術・家庭科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> 知識及び技能	<input type="checkbox"/> 思考力、判断力、表現力等
生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と結び付けることができる。	生活から課題を見付け、身に付けた知識を基に解決策を考え実践しようとしている。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・技能に対する理解と習得に課題がある生徒が多い。<input type="checkbox"/> ・自ら考え課題へ取り組む創造力や工夫する力が弱い傾向にある。<input type="checkbox"/> ・特に言語や画像から具体物をイメージする力に課題がある。<input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を取り入れ、知識と技能が有機的に結びつくようにする。<input type="checkbox"/> ・生徒の特性に合わせて指導方法を工夫し、映像などを用いて理解を促す。<input type="checkbox"/> ・自分の考えをまとめ、お互いに共有できる場を設ける。<input type="checkbox"/> 	毎時間 <input type="checkbox"/> 、 <input type="checkbox"/>	

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・技能に対する理解と習得に課題がある生徒が多くいる。<input type="checkbox"/>ア ・自ら考え課題へ取り組む創造力や工夫する力が弱い傾向にある。<input type="checkbox"/>イ ・特に例と実物を結び付け、実践する力に課題がある。<input type="checkbox"/>イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を取り入れ、知識と技能が有機的に結び付くようにする<input type="checkbox"/>ア ・生徒の特性に合わせて指導方法を工夫し、映像などを用いて理解を促す。<input type="checkbox"/>ア ・自分の考えをまとめ、お互いに共有できる場を設ける。<input type="checkbox"/>イ 	毎時間 <input type="checkbox"/> ア、 <input type="checkbox"/> イ	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・技能に対する理解と習得の差が大きく、個別な支援が必要な生徒がいる。<input type="checkbox"/>ア ・自ら考え課題へ取り組む創造力や工夫する力が弱い傾向にある。<input type="checkbox"/>イ ・特に言語から具体物をイメージする力に課題がある。<input type="checkbox"/>イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を取り入れ、知識と技能が有機的に結び付くようにする<input type="checkbox"/>ア ・生徒の特性に合わせて指導方法を工夫し、映像などを用いて理解を促す。<input type="checkbox"/>ア ・自分の考えをまとめ、お互いに共有できる場を設ける。<input type="checkbox"/>イ 	毎時間 <input type="checkbox"/> ア、 <input type="checkbox"/> イ	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
タブレットを使用し、お互いに意見交換をさせることで自分の考えなどをより深化させる。また、スライドなどを作らせ自分の考えを目に見える形で言語化することで、第三者に伝える技術を向上させる。	振り返りシートを使って学習の積み重ねに見通しを持たせる。具体的には自分が頑張ったことや、その時間で学んだ事を振り返りシートを使って記録として残させる。さらに、次の授業で目標を立てるときに振り返りシートを使って考えさせる。

令和6年度 多摩市立落合中学校 授業改善推進プラン 教科名

英語

英語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能	<input type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等
コミュニケーションの中で、基本的な語彙や文構造を活用する力や、自らの考えを相手に伝えるための「発信力」を養う。	聞くことや読むことを通じて得た知識を、自らの体験や考えと結び付けながら活用する、「話す力」「書く力」を養う。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	つづりを覚えることや文構造の定着にはまだ課題がある。また、自己表現の際に、既習内容を活用することにも課題がある。	<input type="checkbox"/> ア 会話練習を通して、学習した語句や文法表現の反復練習を行う。ペアで学び合うことで語彙や文構造の定着を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 自己表現の際に、教科書本文やリスニング音声で使われている表現を活用するよう指導する。自己の学習状況に応じて、語句を変えたり順序立てて文を組み合わせたるように指導する。	授業ごとに目標を設定し、実施する。	

第2学年	単語の発音とつづりを一致させること、動詞の活用や文構造の定着に課題がある。また、英語の学習に苦手意識をもっている生徒が多い。	<input type="checkbox"/> 単語の発音練習や音読練習を十分に行い、発音とつづりを一致させる。また、問題演習や会話練習を通して、学習した語句や文法表現の定着を図る。モデルとなる音声や会話を聞く際に、デジタル教科書を活用することで個別最適な学びを促す。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己表現の際に、新しく学習した語句や文法表現を積極的に活用するよう指導する。教科書本文やリスニング音声で使われている会話を参考にしながら、自己の伝えたい内容に合わせて、語句を変えたり、順序立てて文を組みわせたりするように指導する。	授業ごとに課題を設定し、実施する。	
第3学年	表現したい意志はもっているものの、表現方法が分からない生徒が多い。また、まとまった内容の英文を一定時間内に話すことにも課題がある。	ペア活動、グループ活動を取り入れることで、不得意な生徒も仲間に支えられながら学習できるよう工夫する。 <input type="checkbox"/> どんな内容も、簡便な表現で表すことができることを、継続して指導する。生徒が表現したこと(筆記したもの)を繰り返し添削し、定着を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンステストを通して、教科書の表現を活用しながらまとまった内容の話をする習慣を付け、定着を図る。	授業ごとに課題を設定し、実施する。	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<ul style="list-style-type: none"> ・作成した課題を提出させ、個別の指導及び全体へのフィードバックを行う。 ・パフォーマンステストのスライド作成に用いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年 単元の初めに学習計画を示し、見通しと目標をもたせている。毎授業後と単元の終わりに振り返りを行い、生徒が学習内容と理解の程度を整理できるようにしている。 2年 単元の初めに学習計画を示し、生徒が見通しと目標をもつようにしている。毎授業後と単元の終わりに振り返りを行い、生徒が学習内容と理解の程度を整理するようにしている。 3年 振り返りシートでの本時のねらいの再確認および次時の予定について見通しをもった学習をしている。